

## 中国に全高約6メートルのガンダム立像が登場！ 『RX-78-2 GUNDAM CHINA SPECIAL』 上海で開催される「第8回中国国際動漫遊戯博覧会」でバンダイ広州が展示 中国人漫画家集団がカラーリングデザインを担当

バンダイナムコグループで中国における玩具関連商品の企画販売を担当するBANDAI (GUANGZHOU) CO., LTD. (所在地：中国広州／社長：中嶋 巖<sup>いわお</sup>、以下バンダイ広州) は、**全高約6メートルのガンダム立像**を制作し、7月12日～16日まで中国・上海で開催される大型アニメイベント「**第8回中国国際動漫遊戯博覧会**」に設置することが決定しました。

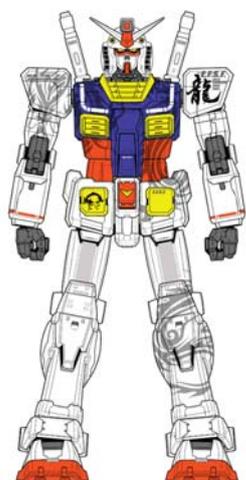
今回制作されたガンダム立像『RX-78-2 GUNDAM CHINA SPECIAL』は、広州天聞角川動漫有限公司（※1）の月刊漫画雑誌「天漫<sup>てんまん</sup>」にて、「中国版・機動戦士ガンダムUC（ユニコーン）」の連載を手掛けるスタジオ「北京顔開文化発展有限公司」（※2）が外観のカラーリングデザインを担当しました。

バンダイでは『RX-78-2 GUNDAM CHINA SPECIAL』の設置に合わせ、このデザインをモチーフとしたガンプラ『MG 1/100 RX-78-2 ガンダム Ver. 2.0 チャイナスペシャルバージョン』（420円）を、中国のショッピングサイト「淘宝网<sup>タオバオワン</sup>」内、バンダイオフィシャルショップ『万代官方旗艦店』にて中国限定商品として発売。7月12日より予約受付を開始します。この商品は、今後中国で開催されるバンダイナムコグループ主催のイベント等での販売も予定しています。

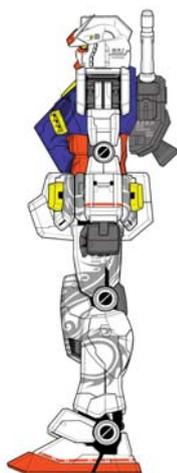
なお、「第8回中国国際動漫遊戯博覧会」では、バンダイ広州がガンプラの大型イベント『ガンプラ EXPO 上海』を開催し、5月より世界各地で予選がスタートしているガンプラ世界一決定戦『ガンプラビルダーズワールドカップ 2012』の中国エリア予選などを行う予定です。

※1 広州天聞角川動漫有限公司…角川グループにおいて中国における漫画・ライトノベルなどの出版事業を手掛ける現地法人

※2 「北京顔開文化発展有限公司」…“中国新漫画の父”と呼ばれる中国で最も著名な漫画家の1人である顔開（Yan Kai／イエン・カイ）氏が社長を務めるスタジオ。現在、広州天聞角川動漫有限公司「天漫」にて「中国版・機動戦士ガンダムUC」を連載中



『RX-78-2 GUNDAM CHINA SPECIAL』イメージ画像



MG 1/100 RX-78-2 ガンダム Ver. 2.0 チャイナスペシャルバージョン

©創通・サンライズ